

## 前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：05 住みなれた地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現

主管課長職・氏名	地域包括支援センター所長 佐藤 修子
関係課長職・氏名	高齢者支援課長 藤倉 友久

1. 基本施策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<p>一人一人が輝き、健やかで笑顔あふれるまちづくりのため、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供され、多様な地域の社会資源で支えあい、住みなれた地域で安心して生きがいのある自分らしい暮らしを続けられるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。また地域包括支援センターの運営を活発に行うとともに、高齢者の増加を見据え介護予防、認知症施策の推進、生活支援サービスの体制整備を推進します。</p>
--	---

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)	
1	幸 福  地域とつながっていると感じている人の割合  単 位 %	37.2	38	40	42	44	44	C	
			35.9	38.2	43.7	41.9	41.9	69.1	
2	暮 ら し  老後が不安なく暮らせると思っている人の割合  単 位 %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.2	A	
			15.7	16.6	21	17.5	17.5	387.5	
	単 位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施 策 名 施 策 目 標 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)	
1	暮 ら し  02050100 継続した包括支援の実施 老後が不安なく暮らせると思っている人の割合  単 位 %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.2	A	
			15.7	16.6	21	17.5	17.5	387.5	
2	幸 福  02050100 継続した包括支援の実施 地域とつながっていると感じている人の割合  単 位 %	37.2	38	40	42	44	44	C	
			35.9	38.2	43.7	41.9	41.9	69.1	
3	暮 ら し  02050200 介護予防の推進 自分が心身ともに元気と感じている人の割合  単 位 %	57.1	58	58.6	59.3	60	60	D	
			57	58.4	58.4	58.4	58.4	44.8	
4	幸 福  02050200 介護予防の推進 地域に役立つ機会を持っていると感じている人の割合  単 位 %	28.8	30	33	36	39	39	D	
			30.7	32.1	28.4	32.6	32.6	37.3	
5	暮 ら し  02050300 日常生活支援総合事業の適正な実施 老後が不安なく暮らせると思っている人の割合  単 位 %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.2	A	
			15.7	16.6	21	17.5	17.5	387.5	



## 前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：05 住みなれた地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現

主管課長職・氏名	地域包括支援センター所長 佐藤 修子
関係課長職・氏名	高齢者支援課長 藤倉 友久

## 2. 基本施策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>「第7期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの推進に取り組みました。</li> <li>地域リハビリテーション講座の実施を支援し、高齢者の社会参加と体力維持・向上のため介護予防等に取り組みました。</li> <li>認知症施策推進のため、地域の理解・普及啓発の推進に努めました。</li> <li>生活支援体制整備に向け、生活支援コーディネーター、協議体及び市民や福祉関係者等と情報交換の場を持ち、地域課題を整理し、取り組むべき資源開発について共有しました。</li> </ul>	

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムの推進</li> <li>「介護予防」「認知症施策」「生活支援体制整備」の活動推進及び支援</li> </ul> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「介護予防」「認知症施策」「生活支援体制整備」などの地域包括ケアシステムに繋がる事業に取り組むとともに活動を支援しました。</li> </ul>	

## 3. 基本施策の実現に向けての平成30年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化進展に伴い高齢者の多様なニーズに対応できる体制整備</li> <li>介護保険制度の見直し等による改正</li> </ul>	

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策を達成するためには、基本施策である「住みなれた地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現」を深化・推進していく必要があり、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。</p>	

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 2年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>高齢者が、住みなれた地域で安心して暮らし続けられるよう、引き続き地域包括ケアシステムの構築に向け、包括的支援や介護予防、認知症の取組、地域での生活支援体制整備を継続推進していく必要があります。</p> <p>【引継課題】</p> <p>高齢化が進展していることから、介護予防や認知症になっても安心して暮らし続けられる取り組みをさらに強化するとともに、在宅生活を支える生活支援サービス創設の生活支援体制整備を継続していく必要があります。</p>	

